

各位

会社名 ブライトパス・バイオ株式会社
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
 (コード番号：4594 東証グロース)
問合せ先 管理部 藤井 厚裕
 (irpr@brightpathbio.com)

がん治療用二重特異性抗体BP1212に関するデータをJCO 2025で発表

当社は、がん治療用二重特異性抗体BP1212に関する試験データを、フランス・リヨンで開催された学会 Immune Response in Cancer and Infection (IRCI) 2025において発表しました。

カンファレンスにおけるポスターの公開（日本時間6月19日（木）午後7時45分）を受けて、本日、発表資料を当社ホームページに掲載いたします。

BP1212は、腫瘍中の樹状細胞と疲弊したがん細胞傷害性T細胞に発現するTIM-3とCD39を標的とするヒト型二重特異性抗体です。標的分子は自然免疫の要であるインフラマソーム*シグナルの抑制因子であり、BP1212はこれらに結合し機能を阻害することで、樹状細胞のインフラマソーム活性を増強し抗腫瘍効果を発揮します。

本発表での主な知見は以下のとおりです。

- インフラマソームシグナリングを介した強力な腫瘍縮小効果
- 樹状細胞の活性化と機能増強
- がん細胞傷害性 T 細胞の活性化と腫瘍浸潤の促進
- 霊長類モデルにおける良好な安全性および薬物動態プロファイル
- 製剤安定性に優れ製造に適した構造設計

今回の発表は、Nature, Cell, Science等の科学誌の編集者および世界中の研究者が集う、がんと免疫領域における国際的に権威あるカンファレンスで行われ、有効性、安全性などについての知見を盛り込んでおり、医薬品としての可能性をより踏まえた内容となっております。

BP1212 は、難治性のがんに対する新たな免疫治療戦略として臨床応用に向けた開発が進められており、当社は本発表を通じて得られる最新の反響や知見をもとに国内外の専門家等からの意見を収集し、今後の開発方針に反映させていく予定です。

【発表演題】

(発表番号：10)

Cancer immunotherapy by promoting inflammasomes in dendritic cells.

(樹状細胞内のインフラマソームを促進するがん免疫療法)

発表時間：日本時間6月19日（木）午後7時45分（中部欧州標準時間 6月19日（木）午後00時45分）

*インフラマソーム: 細胞内で病原体や細胞の損傷を感知し、炎症反応を誘導するタンパク質複合体

以上

【問い合わせ先】

ブライトパス・バイオ株式会社 管理部

E-mail: irpr@brightpathbio.com

<https://www.brightpathbio.com>